

薬連ハイライト

年頭所感

自民党筆頭副幹事長
政調会長代理
衆議院議員

松本 純



新年明けましておめでとうございます。公益社団法人日本薬剤師会並びに日本薬剤師連盟会員皆様には平成28年の初春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。昨年10月7日の第3次安倍晋三改造内閣発足に伴い、自民党では、筆頭副幹事長、政調会長代理、衆議院では、厚生労働委員会委員という役割を頂き、幅広い課題に取り組んでおります。

一億総活躍という輝かしい未来を切り開くため、少子高齢化に歯止めをかけ、50年後も人口1億人を維持し、高齢者も若者も、女性も男性も、難病や障害のある方も、誰もが今よりも、もう一歩前へ踏み出すことができる社会をつくるための新しい挑戦を始めました。

それは、戦後最大のGDP600兆円、希望出生率1.8、そして、介護離職ゼロ。この3つの大きな目標に向かって、新しい三本の矢を力強く放つ。そのための強固な体制を整え、実施に移すことを目指し、自民党として一億総活躍推進本部を設置し、その筆頭副本部長として、緊急提言を取りまとめました。

1月4日に召集される第190回通常国会において平成27年度補正予算案並びに平成28年度予算案の早期成立を目指し、デフレからの脱却による確実な景気回復を通じ安心・信頼できる社会保障制度の堅持、安全な社会づくりのために引き続き全力で取り組んで参ります。

平成28年度予算編成においては、厚労担当政調会長代理として、診療・調剤報酬の決定にも係わらせて頂きました。薬剤師は期待されている社会的使命を全うし、国民・患者さんに身近な立場で、健康の維持・増進を図り、安全・安心を提供できる、「かかりつけ薬剤師」・「かかりつけ薬局」としてその職能を発揮していかなければなりません。

社会の高齢化が進むなかで、お年寄りが複数の慢性疾患を抱えて複数の医療機関に通院している場合などには、重複投薬などが増える傾向にありますが、まさに、「お薬手帳」の有効活用をとおして、こうしたケースの解消に役立つことが求められています。

また、医薬分業制度が薬物療法における安全性・有効性を確保するためのシステムであることを踏まえると、特に地域包括ケアシステムの中で、安全確保と医療の質の向上を図るためには、患者さんから選ばれた「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」が、かかりつけ医を中心とする多職種と連携しながら、その責務を果たしていくことが必要です。

「かかりつけ薬剤師」とは患者が使用する医薬品について一元的かつ継続的な薬学管理指導を担い、医薬品、薬物治療、健康等に関する多様な相談に対応できる資質を有すると共に地域に密着し地域の住民から信頼される薬剤師であり、「かかりつけ薬局」とは地域に必要な医薬品等の供給体制を確保しその施設に従事する「かかりつけ薬剤師」が患者の使用する医薬品の一元的かつ継続的な薬学管理指導を行っている薬局であると「患者のための薬局ビジョン」にも示されました。顔なじみの「かかりつけ薬剤師」がいる「かかりつけ薬局」として国民・患者さんの健康維持・増進という目的達成のために、共に頑張りましょう。

私は野党を経験し、政治の安定が経済再生に不可欠であることを学びました。まずは、政治を安定させること、そして経済を引き上げること、その経済成長の上で社会保障制度が堅持されなければならないことを胸に本年も全力で頑張る参ります。

引き続き皆様からの変わらぬご指導、ご鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。本年も皆様にとりましてさらに良い年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

年頭にあたって

新年明けましておめでとうございます。日本薬剤師会の会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年秋に行われました内閣改造並びに自民党役員人事により文部科学副大臣の任務を解かれ、自民党の政務調査会副会長並びに参議院自民党政策審議会副会長として党務に従事することとなりました。文部科学副大臣在任中は公務のため、皆様方には種々ご迷惑をお掛けしたかと思いますが、これからは皆様方に直接お目にかかり、ご意見やご要望などお聴きする機会を出来る限り多く設けて参りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は医薬分業に対して世の中の関心を集める年となりました。我が国の医薬分業は、1974年の処方箋料の大幅な引き上げをきっかけに、その発行枚数が着実に伸びはじめ、院外処方箋の応需率は70%に達するまでに至りました。その一方で、受診した医療機関ごとに近くの薬局で調剤を受けるなど、医薬分業における薬局の役割が十分に発揮されていないとの指摘も見られるところとなりました。



参議院議員

藤井もとゆき

政府の規制改革会議においても医薬分業を議題に取り上げ、地域包括ケアの推進において、かかりつけ薬局の要件を明確化するなど、薬局全体の改革の方向性について検討すること、調剤報酬のあり方について門前薬局の評価など抜本的な見直しを行い、努力した薬局、薬剤師が評価される仕組みとすること、などが示されました。

こうした状況を受け、厚生労働省は「医薬分業の原点に立ち返り、57,000の薬局を患者本位のかかりつけ薬局に再編する」とした大臣表明を受け、「患者のための薬局ビジョン」を公表しました。また、本年4月の診療報酬改定に向けて、かかりつけ薬剤師・薬局の貢献度による評価の適正化、いわゆる門前薬局の評価見直しなどについて、中医議等での議論が行われてきています。年明けからは通常国会も始まります、薬剤師の業務に対する適正・公平な評価がなされるよう、政治の場でもしっかりと議論していきたいと思っております。

薬剤師の先生方の益々のご活躍を祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。本年もよろしくお願い申し上げます。

年頭所感

新年明けましておめでとうございます。山本信夫会長はじめ公益社団法人日本薬剤師会及び日本薬剤師連盟の会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、一昨年の総選挙で二年ぶりに国政に復帰できたことは、何よりも皆様の厚いご支援の賜物です。衷心より感謝、お礼申し上げます。

現在、民主党の総務・内閣（地域主権改革・地方再生）部門座長、社会保障と税の一体改革総合調査会顧問、税制調査会顧問、地域主権調査会会長などの役割をいただき、皆様方のお声を政府、国会に届



衆議院議員

逢坂 誠二

けるべく、一生懸命努めています。野党の立場ではありますが、日本薬剤師会及び日本薬剤師連盟が与党野党の双方に睨みのきく政治力を持つことに少しでもお役にたてればと思ひ、全力で活動しています。

薬は単なる商品ではなく、それを扱う薬剤師の役割も国民の健康や命のためにとっても大切なものです。薬剤師には、個々の患者の方々に、最適な薬物療法を提供するプロフェッショナルとしての重責が求められています。高い職業意識を持って働く皆様のためにも、何ができるか、何をすべきかといった役割と課題について考えることに与野党の垣根はあり


ません。私、逢坂誠二にできることは何かと常に問い続け、あらゆる課題に、積極果敢に取り組んで参ります。

本年は二年に一度の診療報酬の改定の年にあたります。現在、平成28年度予算案の閣議決定を受け、厚生労働大臣が中医協に薬価改定を含む診療報酬の改定を諮問しているところです。具体的な議論は昨年から続いており、まさにいま、この作業が最終局面を迎えようとしています。この動きもしっかりと注視し、国民の健康や命をどのように守っていくのかの観点で議論が進められているのか、日本の医療



全体がおかしな方向に進んでいないのかをチェックして参ります。

本年も薬剤師を取りまく状況を少しでも改善していくために、薬剤師の一人として、国政の中でしっかりと働いていく所存です。皆様の強い思いが政府、国会に届けられるように、全力で取り組ませていただきます。

結びに、この一年が皆様にとりまして良い年となりますように心からご祈念し、年頭のご挨拶といたします。

 **「いいね」を押してね!**

日本薬剤師連盟 

 **日本薬剤師連盟** facebook 

本連盟の活動をいち早く写真と共にお伝えいたします。Facebookページに「いいね」を押して、本連盟の活動をチェックしよう!